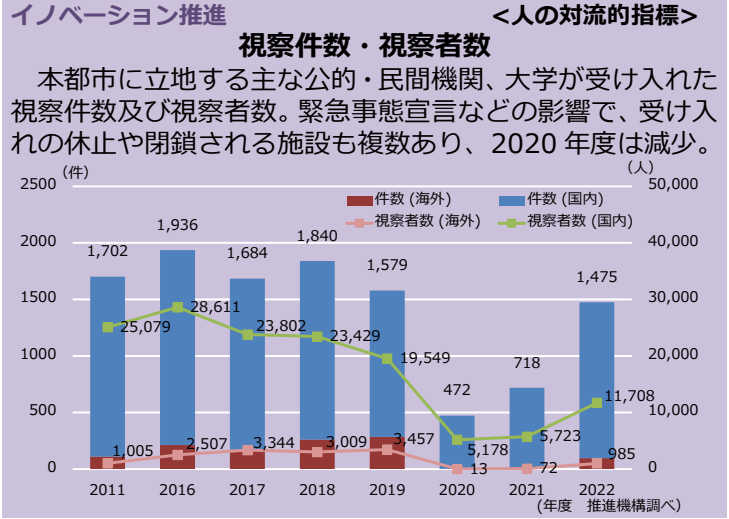
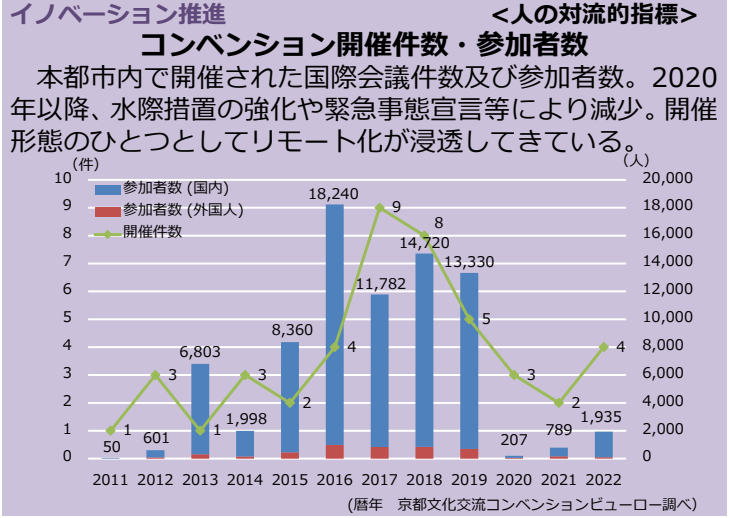


けいはんな万博 取組状況

2023 年 11 月 9 日「けいはんな万博 2025」の実施に向け、運営協議会設立、また総会が開催された。11 月 19 日には「けいはんなアバターチャレンジ」2023 プレ大会が開催され、約 300 名の観客がけいはんなプラザ日時計広場に集まった。



(特定非営利活動法人けいはんなアバターチャレンジ 提供)



グローバルスタートアップ支援プログラム「KGAP+」

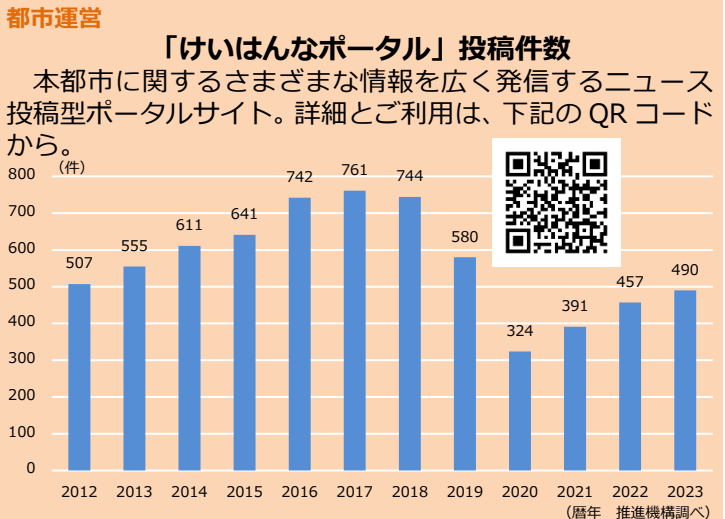
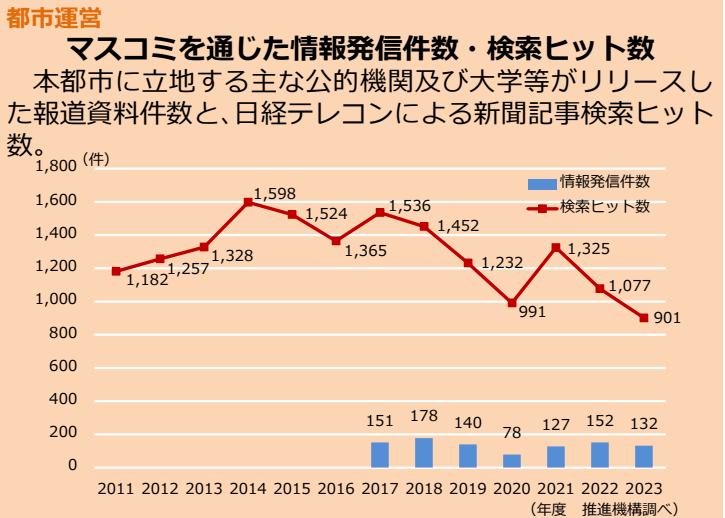
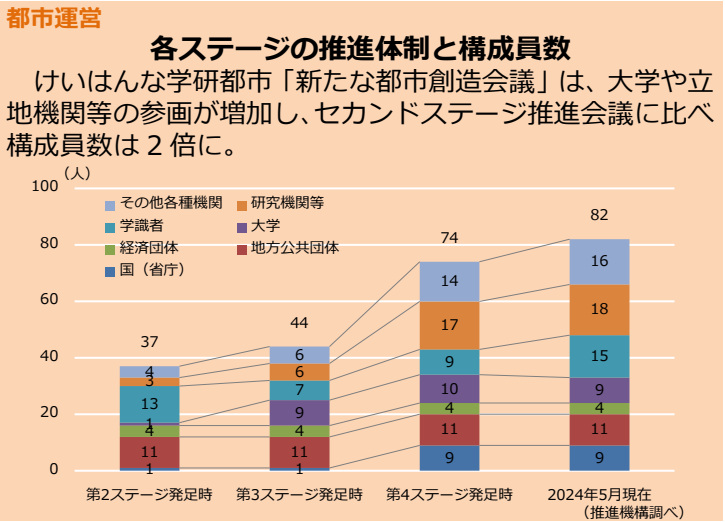
(Keihanna Global Acceleration Program Plus)

2019 年度から ATR とけいはんなリサーチコンプレックス協議会が実施。国内外の連携機関を通してスタートアップが参加し、3 カ月間の活動により協業先を探索 (累計参加数 17 カ国 155 社、マッチング成立 68%)。

2023 年度は第 9・10 期に 14 カ国 36 社が参加。海外展開を目指した特別プログラムをスペイン・カタルーニャ州、オーストリア、台湾を対象に実施 (計 6 カ国 12 社参加)。京都スマートシティエキスポ 2023 においてアートとテクノロジーの融合をテーマに「KGAP+ 特別セッション」も開催。



(ATR 提供)



SDG s 関連指標

持続可能な開発目標 (SDG s) を達成するために示された我国の具体的施策にかかる指標に準じた、本都市内における該当指標。



100 万人当たりの研究者

本都市内では、'23.4.1 現在で 1.34 万人。

<SDGs ターゲット：9.5>

海外との科学技術協力協定

本都市では、'24.3 末現在で 189 件。

<SDGs ターゲット：17.6>

立地適正化計画

本都市 8 市町のうち、'24.3 末現在で 2 市町が作成済。

<SDGs ターゲット：11.3, 11.a>

けいはんな学研都市「新たな都市創造プラン」

けいはんなインジケーターマップ 2024

けいはんなインジケーターマップとは

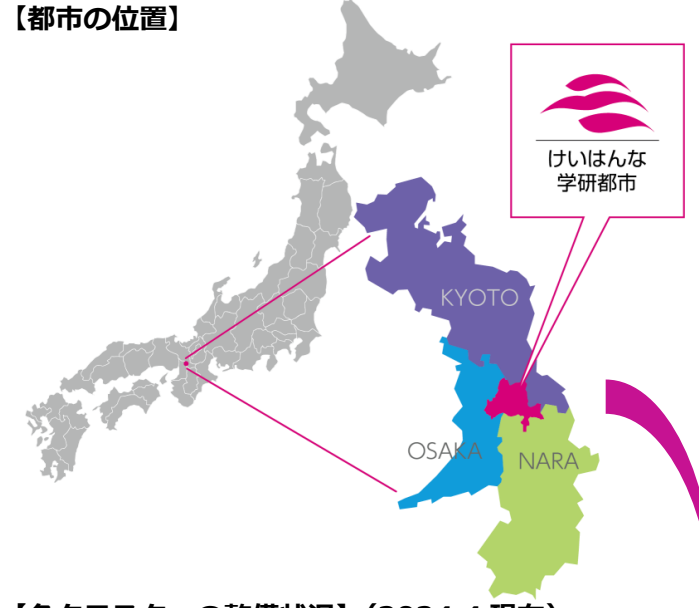
多様なステークホルダーによって推進されている「新たな都市創造プラン」の取組成果を、「けいはんな学研都市」全体として俯瞰的に評価する指標群。

関係する事業主体が成果を共有し、国内外へアピールすることで、都市全体の価値を高めるとともに、取組成果を関係機関それぞれの事業活動の新たな展開に活かしていくための取り組み。

2020 年以降、COVID-19 が世界的に拡大。あらゆる感染拡大防止対策が講じられ、人々の生活様式や意識が変化。けいはんな学研都市に於いても、様々な活動に影響を及ぼしている。

けいはんな学研都市の基礎情報

【都市の位置】

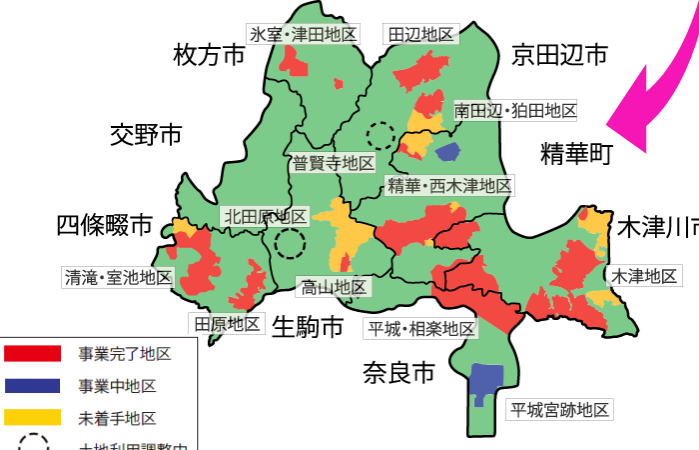


けいはんな学研都市

【各クラスターの整備状況】(2024.4 現在)

学研都市全域 15,000ha

内文化学術研究地区 3,600ha (12 クラスター)



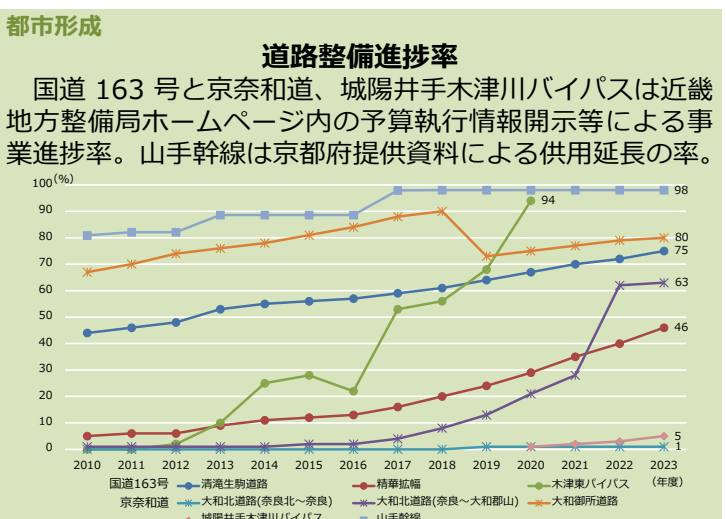
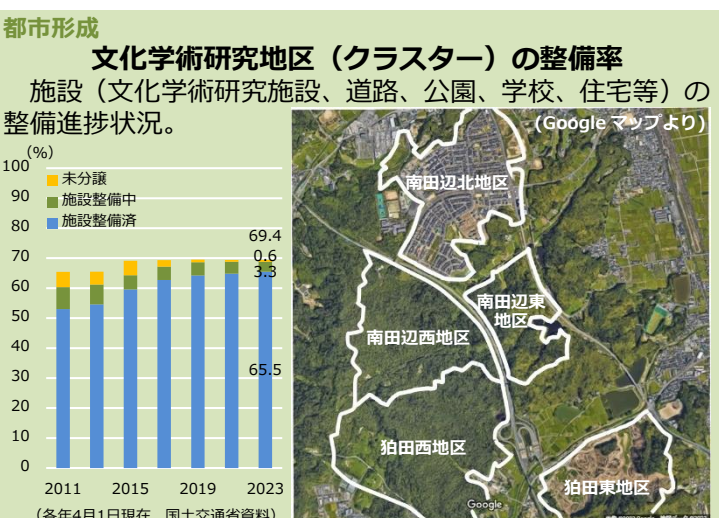
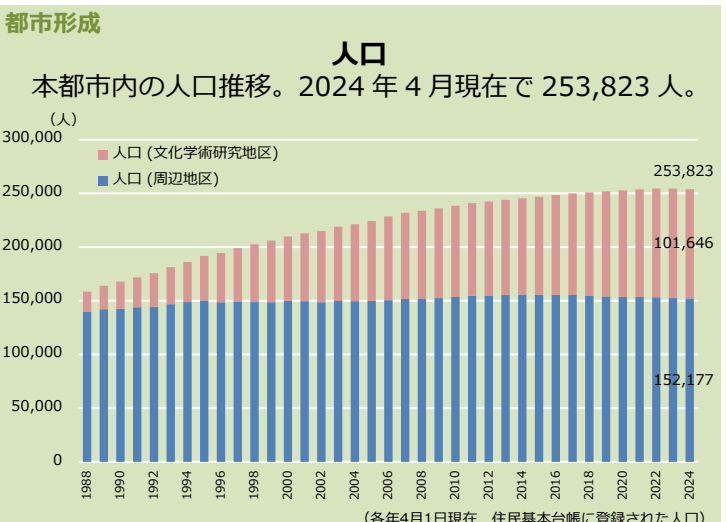
事業完了地区

事業中地区

未着手地区

土地利用調整中

編集・発行 公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 (KRI) 2024.5



都市計画道路 大和中央道

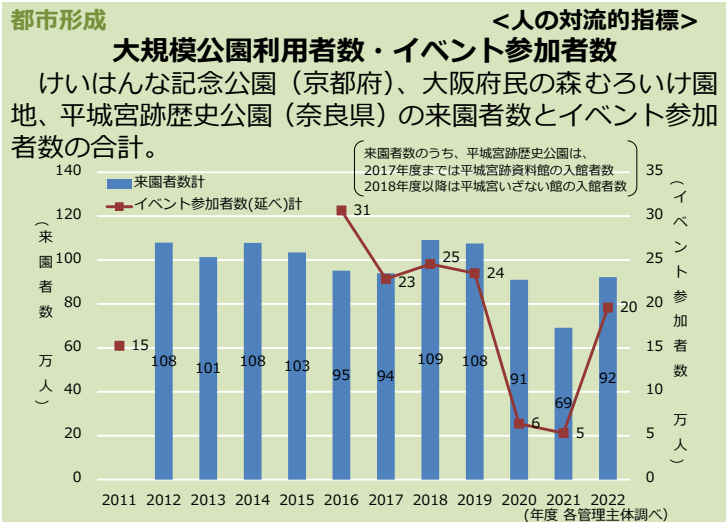
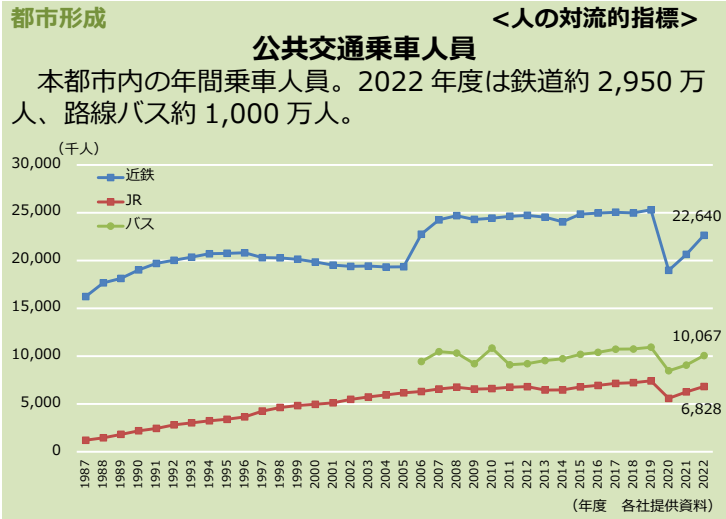
奈良県北部では「大和中央道」敷島工区 (奈良市秋篠町～西大寺赤田町二丁目) の整備が進んでおり、供用開始が間近となっている。

地域住民の利便性向上、歩行者や自転車などの安全確保はもとより、本都市におけるネットワーク強化と文化学術研究地区 (クラスター) 間のアクセス向上につながり、各地区の活性化も期待できる。



奈良市敷島町一丁目付近より西大寺方面を望む

(奈良市 提供)



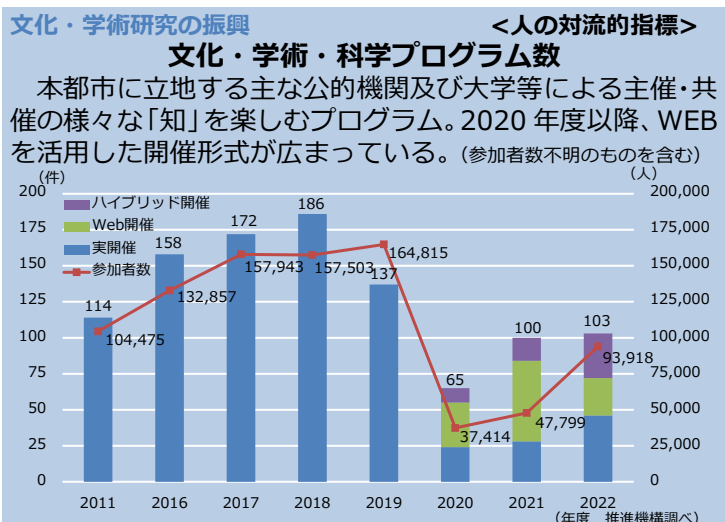
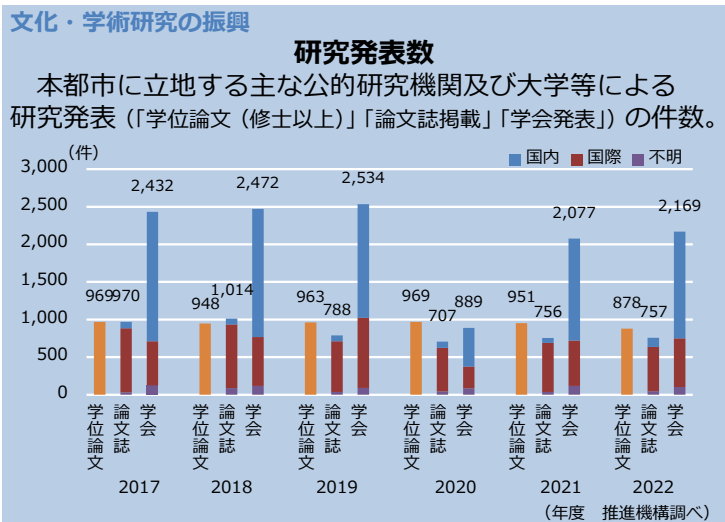
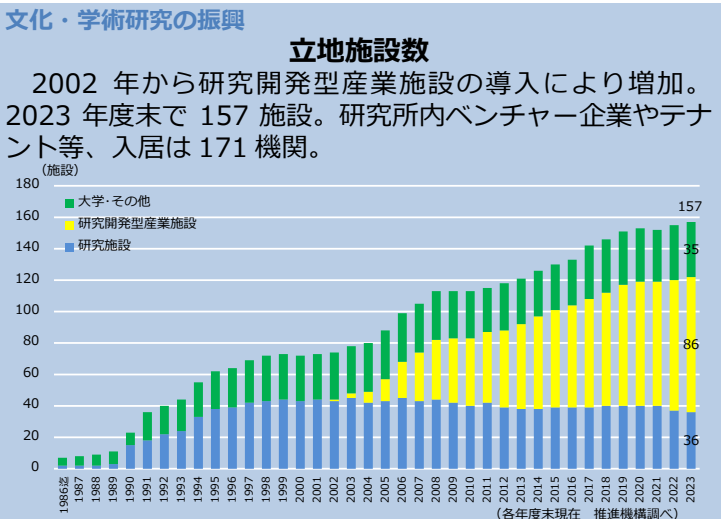
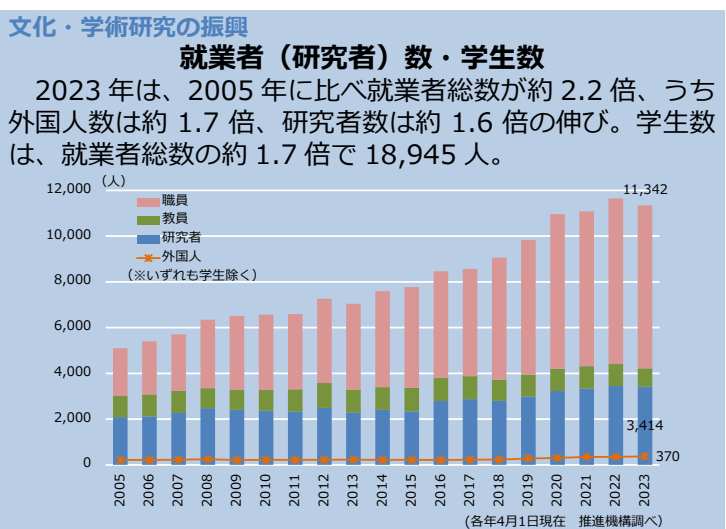
けいはんな記念公園

1995 年 4 月に開園したけいはんな記念公園では、森林や棚田などの里山風景、有料エリアでは回遊式日本庭園「水景園」が楽しめるほか、日本の伝統行事や農作業を親子で体験する「つちのご隊」、海外の方を対象にした枯山水プログラムなど様々な取組が行われている。

枯山水プログラム

「つちのご隊」の田植え

(けいはんな記念公園 提供)



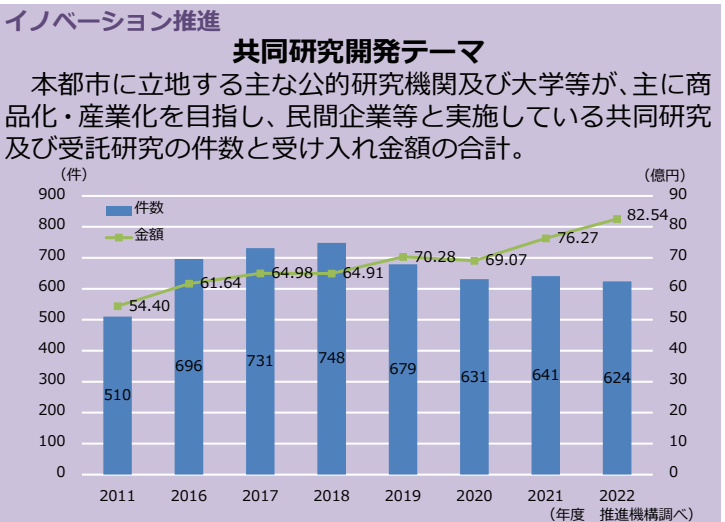
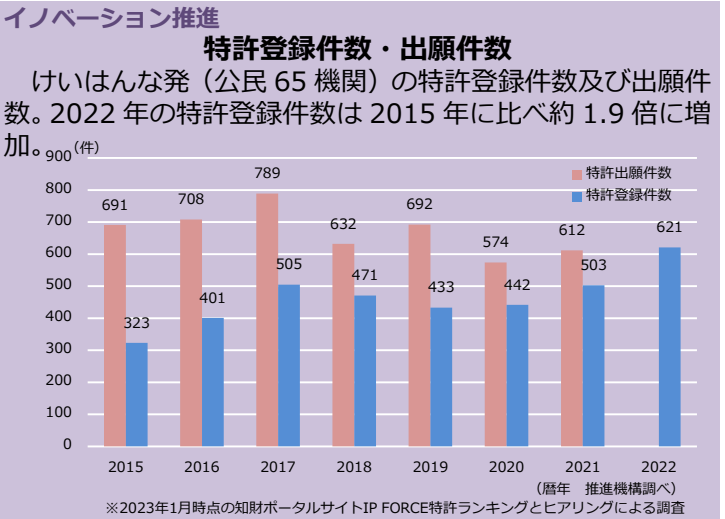
関西光量子科学研究所 施設公開

2023 年 11 月 11 日、関西光量子科学研究所で開催された施設公開では、工作教室や科学体験、セミナー、実験施設の見学など 1,400 名超の来場者が楽しんだ。また今回は「木津川アート 2023」とのコラボ開催として研究所内でのアート作品展示やワークショップなども行われた。

レーザー打音検査の見学
レーザーがコンクリートを叩く様子は一見の価値ありです

外磯秀紹さんによるアート作品

(QST 関西光量子科学研究所 提供)



イノベーション推進

社会実装を目指した実証事業件数

2016 年度から 7 年間累計 617 件 実施

本都市に立地する主な公的研究機関や大学等において、新たに開発した技術や製品等の社会実装を目指した実証事業の状況。（自社敷地内で一般住民が参加しない事業は除外）

イベントにきたお客様を行列の最後尾へと誘導する「誘導サービス」に加え、行列の割り込みなどに対する「注意喚起サービス」を行う警備員ロボット

Copyright 2023 ATR (ATR 提供)

Maker Faire Kyoto 2024

けいはんなオープンイノベーションセンターにて 2024 年 4 月 27・28 日開催。延べ約 6,200 名が、各地から集まった出展者（Maker）との交流、ワークショップ参加や最新ツールなどを体験。ものづくりの楽しさや新しい学びの機会を得ることができ、盛況となった。

(KRI 撮影)

「大学・研究機関」共創会議

2022 年 12 月、本都市また関西全体を視野に入れた更なる交流・連携に向け、けいはんな学研都市「大学・研究機関」共創事業がスタート。2023 年 6 月 13 日には、各機関の代表者などが顔を揃え、意見交換が行われた。

11 月には、研究者のプロフィールや研究テーマなどを見やすくわかりやすくまとめた Web サイト「けいはんな Sciencepedia」が公開された。

「けいはんな Sciencepedia」には QR コードよりアクセスください。（KRI 撮影）

イノベーション推進

Club けいはんな・K-PeP 活動状況

Club けいはんなは、ものづくりのための研究開発を支援するため、生活者としての知恵と知識を活かす市民参画による組織。（2016 年設立）

K-PeP は、自動運転等の新技術や新たな交通システムの確立に向けた日本で初めての企業乗合型、住民参加型の公道走行実証実験プラットフォーム。（2018 年運用開始）

Club けいはんな

会員数 3,571 人
(2024 年 3 月末現在)

活動実績 (累計)

- ・ワークショップ 11 件
- ・実証実験 6 件
- ・Web 調査 28 件

K-PeP

参加企業数
(2024 年 3 月末現在) 22 社

実証実験件数 (累計) 34 件

